

# すまきのこ



幼保連携型認定こども園  
尚網大学附属こども園

## 日々の遊びや絵本から作り上げます

暑かった夏が去り、涼しい風に誘われるように以前にも増して遊びが活発になったように思います。そこかしこで心と体と頭を動かして遊ぶ園児の姿に出会います。

例えば、捕まえたクワガタムシ二匹を大型積み木の上に乗せ、合戦しながら落ちた方が負けという遊びを考えたり、玉入れ遊びをしながら支柱からのあたりに下がった方がいいかを考え



「玉入れ遊び」…誰でも参加自由



楽しかったドライブ遊び

ながら玉を投げたりなど、自なりに工夫する姿が見られます。運動会は、こうした日々の生活の中で子どもたちが楽しみつづ身につけたり伸ばしたりした、様々な資質・能力を保護者の皆様と共有し、その成長を共に喜び合う機会にしたいと考えています。保育者は子どもたちとおうちの方に何を見てもらいたいかを相談し、当日のプログラムを作り上げています。

学期、リズム  
トミック  
をする中  
で、園児が最も夢中になつてなりました。ごっこ遊びが「ドライブ」だったことか  
らつくったものです。また年少組はお帰りの集まりで歌う「むすんでひらいて」の中で動物や乗り物になりきる大好きな遊び、年長組は園児が大好きな絵本「どうぶつサーカスはじまる

例えば、年中組のリズムの題目は「ドライブに行こう」です。園児がドライブに行きながらいろいろな動物になりきるという内容です。これは一

よ」をもとに作ったりリズムです。楽しかった思い出や絵本のイメージを園児なりに表現してくれることでしょう。当日は、保護者の皆様にも思い切り心を動かして応援してい

ただきたいと願っています。そして運動会が終わっても、子どもたちの挑戦や探求は続きます。ご家庭でも引き続きともに楽しんでいただければ幸いです。

### 人間は乳幼児期に一生分の親孝行をする

「人間は三歳までに一生分の親孝行をしますよ。赤ちゃんの可愛らしさとはそういうものです。それ以上の期待を子どもにしちゃあけませんよ。」とおっしゃったのは、永六輔(放送作家、作詞家 エッセイスト)さんです。私は「三歳まで」の範囲を広げて「乳幼児期」と思っています。というのも、私には30を過ぎた息子と娘がいますが、二人の子どもの頃の収録した8ミリビデオ(デジタルはありませんでした)の本数を調べてみると、乳児期と幼児期のビデオ収録の本数はほぼ変わらないのに、小学校入学以降徐々に少なくなっています。ですから「三歳まで」ではなく「乳幼児期」です。

今では私を諭すようになったり、反論したりする子どもたちですが、ビデオを見直してみると、映した時の自分の感情まで思い出し、幸せな気持ちになります。親孝行だと思わせてくれるのはビデオのおかげかもしれません。

動画がビデオカメラで収録できるようになったのは今から40年程前です。それまで写真でしか思い出が残せなかった成長の記録が音声付き動画として残せる。それが普及した時は、本当に衝撃でした。

子どもの声や動く姿が残せたことに感謝をしつつ、今は、スマホで時々送られてくる孫の動画を見るのを楽しみにしています。といいながらも、子どもや孫の姿を動画で見ながら、少しばかりの羨ましさも感じてしまいます。

さて、1週間後は運動会です。たくさんのシャッターを切ったり「録画」を押したりして思い出の1ページが増えられることを願っています。きっと子どもさんの最後までやり抜く力や、かけっこで転んでも我慢しながら走り通す姿、または我慢できずに泣き出しながらゴールまで走る姿に感動されることだと思います。

運動会でも親孝行をしてくれることでしょう。

